

P37

多くの授業が、オンラインの利用、またはラジオやテレビでの授業へと変更されました。

この新しい授業の方法は、大抵の場合、利用しにくいものでした。

生徒たちは、教室で受けられた支援を受けられなくなりました。

新しい授業の方法は利用しにくく、支援もない為、家族が先生の役割を担うことになりました。

P38

知的障害のある本人たちは、変化を受け入れる事が難しいと言われてています。

彼らは、「オンラインでの学習は、使いにくい」と言っています。

多くの知的障害のある本人さんたちが、「最新技術は使いにくいので、オンラインで学習することができない」と言っています。

インクルーシブ学校は、ご本人たちが一員であると感じることができる場所なので、休校は難しいです。

P39

コロンビアの本人、ローラは、

「インクルーシブ学校は、私たちが心地よい場所です。

私たちが、人生の友人をつくる場所です。

私たち自身の価値を見出し、尊重してくれる場所です。

インクルーシブ教育は、他者が、私たちに価値を認め、地域の一員として受け入れることを助けています。」

休校は、知的障害のある人たちを、孤独にし、社会から隔てました。

行政は、何をすべきか？

行政が、新型コロナウイルス後に、全てのことを、どのようにを良くしていくかを計画する時、教育は、その計画に含まれなければいけません。

これが行政のやるべきことです

1. 学校は、常に利用できるようにする。

私たちが、学校で何を学ぶかは、全ての人に利用しやすくすべきです。行政は、学校と生徒が学ぶ方法は、全ての人が利用しやすくしなければいけません。

2. 生徒が、常に支援を得られるようにする

教室での障害のある生徒への直接支援は、彼らがきちんと学ぶために重要です。行政は、これらの支援が、予算不足で切られないようにしなければいけません。

3. 計画を作成する時に、当事者やその家族をいれる

行政は、障害のある人とその家族に、教育についてどのように考えるかを聞くべきです。計画を作成する時には、当事者とその家族を関係させなければいけません。

雇用

新型コロナウイルスは、健康の問題ですが、仕事にも大きな影響を及ぼします。多くの人が、仕事を無くしました。

知的障害のある多くの人たちは、飲食店や店舗で仕事をしています。これらの職場で働く多くの人が、新型コロナウイルスにより、仕事を失っています。

仕事を失った多くの人たちは、何が起きているのか、どうして起きているの

か等の情報を得ることが難しかったです。

失業しなかった人たちは、在宅勤務を始めなければいけなくなりました。在宅勤務中は、仕事上の支援を受けることが難しくなっています。

P 4 2

コロンビアの本人、ルイス・ガブリエルは、

多くの知的障害のある人たちは、以前のように仕事に行くことができなくなり、生活が困難になっていると言っています。その他の人は、在宅勤務しています。私自身は、早めの夏休みをとらなければいけなくなり、仕事に戻るまでは、お給料はありません。無給での休暇は、何も支払いのない在宅勤務期間中に、会社と合意しました。

英国の本人、ハリーは、

最近、パンデミックの間の在宅勤務は、私にとっては、大きな変化でした。毎日、新しい仕事の在り方に慣れなければいけませんでした。顔を合わせたのチームミーティングはなく、同僚とどのようにコミュニケーションを取るのかを考えなくてはいけませんでした。

P43

行政は何をするべきか

社会の一員としての仕事は、自立した生活の重要な部分です。新型コロナウイルス後に、人々が仕事に戻った時、知的障害のある人たちも同様であることが重要です。

これが行政のやるべきことです

1 正当なお給料が支払われる仕事であること

多くの知的障害のある人たちは、仕事を失いました。これは、彼らを作業所に入れればよいという事ではありません。作業所は、障害のある人たちだけが働く場です。彼らが働き始めた時には、正当なお給料が払われる仕事でな

ければいけません。

2 新しい雇用方法を考えること

企業が雇用をする方法は、大抵の場合、分かりづらいです。新型コロナウイルスの影響により、多くの企業が新しい雇用方法を試しています。新しい雇用方法は、応募したい誰にとっても分かりやすくあるべきです。

3 職場で、誰もが支援を受けられるようにすること

障害のある人たちは、職場で支援を受ける権利があります。これを、合理的配慮 (reasonable accommodation) と言います。行政は、在宅勤務時も含め、全ての人がこの合理的配慮をされることを確約しなければいけません。

P44

現在、行政は予算を投入して、新型コロナウイルス後に、より良い国にするための多くの変更をしています。

もし、行政がこの助言を聞き入れれば、知的障害者がより社会の一員となる国となります。

P45

用語集

用語集は、言葉のリストです。理解するのが難しい言葉の意味を説明しています。

Accessible - アクセシブルは、誰でもが理解しやすく、使いやすいという意味です。

Community - コミュニティーは、お互いに係り合う人たちのグループのことです。例えば、近所で一緒に生活している人たちは、コミュニティです。

Institutions - インスティテューション (入所施設) は、障害のある人が一緒に生活する場所です。彼らは、他の障害のある人たちと一緒に

生活していますが、家族や彼らのコミュニティーから分離されます。

Reasonable Accommodation（合理的配慮） -

合理的配慮は、誰かが何かするのを簡単にする調整です。仕事のある障害のある人が、仕事をするために支援を調整することです。

Sheltered Workshop（作業所） - シェルターワークショップで仕事をしている人は、全員、障害のある人たちです。そこで働く障害のある人たちは、大抵の場合、安い賃金や賃金がない仕事をしています。

Webinar - 対人によって、インターネット上での発表形式のことです。